

表1 特別会計 (単位:千円)

会計	歳入(A)	歳出(B)	差し引き(A-B)
土地区画整理事業清算	2,759	2,140	619
中央卸売市場	665,121	665,121	0
交通災害共済事業	51,939	50,343	1,596
地域下水道事業	96,804	89,233	7,571
桜島観光施設	407,256	397,787	9,469
土地区画整理事業用地取得	261,800	261,800	0
国民健康保険事業	58,779,486	61,375,089	△ 2,595,603
介護保険	33,543,249	33,461,309	81,940
老人保健医療	172,507	172,507	0
後期高齢者医療	5,691,649	5,632,422	59,227
母子寡婦福祉資金貸付事業	722,083	130,304	591,779
合計	100,394,653	102,238,055	△ 1,843,402

表2 企業会計

会計	事業の概要	収支の状況
病院事業	MR I・マンモグラフィ・新生児専用ドクターカーなどの購入や新病院の基本設計業務などを行いました。 〈患者数〉 外来 23万4,181人 入院 17万7,717人	収入 129億3,055万6千円 支出 129億2,030万2千円 利益 1,025万4千円
交通事業	低公害低床型バス5台の購入や芝生軌道用芝刈・散水装置の整備などを行いました。 〈輸送人員〉 電車 1,039万6,886人 バス 1,157万9,639人	収入 46億3,230万7千円 支出 42億9,294万1千円 利益 3億3,936万6千円
水道事業	平川浄水場の電気計装設備の更新や管路施設の整備、改良などを行いました。 〈給水人口〉 58万2,200人 〈年間総給水量〉 6,967万4,585m ³	収入 114億930万1千円 支出 105億6,820万2千円 利益 8億4,109万9千円
工業用水	一倉工業団地などへの安定給水を図りました。 〈給水件数〉 4件 〈年間総給水量〉 22万9,422m ³	収入 1,099万8千円 支出 881万2千円 利益 218万6千円
公共下水道	谷山処理場の水処理施設などの増設や汚水管路施設の整備、改良などを行いました。 〈処理人口〉 46万500人 〈年間総処理水量〉 6,208万8,716m ³	収入 76億695万2千円 支出 72億332万2千円 利益 4億363万円
船舶事業	新船の建造や桜島港接岸施設等の補修などを行いました。 〈輸送人員〉 366万6,387人 〈輸送車両〉 152万4,480台	収入 23億5,291万5千円 支出 23億4,083万9千円 利益 1,207万6千円

市民相談 (相談は無料)

- 市政相談(市政に関する要望・意見など) 市民相談センター-216-1205と各支所
- 一般相談(多重債務、相続、離婚など) 市民相談センターと各支所(東桜島支所を除く) 8時30分~17時15分(市民相談センターのみ市民相談員対応 9時~12時、13時~16時)
- 法律相談(予約制) 市民相談センターと谷山支所 事前に面談による一般相談を受けて、法律相談が必要な人が対象
- 交通事故相談 ●雇用相談 市民相談センター 9時~12時、13時~15時45分
- 各種相談

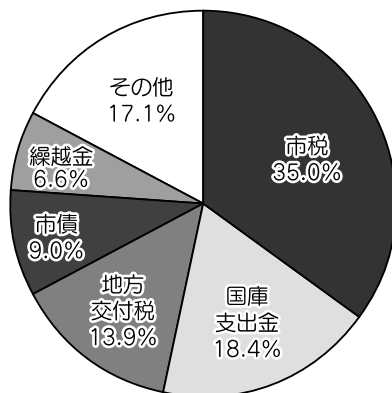
月	日	曜	相談名	場所	時間	
2	10	木	登記	市民相談センター	13時~16時	
			人権	吉野支所		
	16	水	不動産鑑定	市民相談センター		
			人権	吉田福祉センター		
	17	木	建築	市民相談センター		
			人権	谷山支所		
18	金	登記	伊敷支所	13時~16時		
		人権	伊敷支所			
3	23	水	人権	松元支所	10時~15時	
			人権	桜島支所		
	2	水	行政関係申請手続き	市民相談センター		13時~16時
			人権	市民相談センター		
	3	木	花と緑	市民相談センター		
			登記	谷山支所		

【サンサンコールかごしま 099-808-3333】

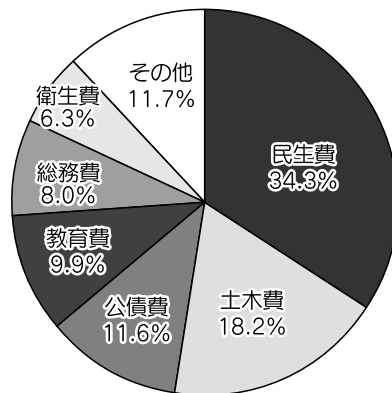
平成21年度

決算状況

図1 一般会計



歳入 2,339億5,612万6千円



歳出 2,276億7,834万8千円

【財政課 216-1155】

◇厳しい財政状況の中、可能な限り財源を確保しながら、徹底した事務事業のしゅん別や見直しなどを行い、健全な財政運営の維持に努めました。一方で、市民との協働により、「人とみどりが輝くまち・かごしま」の創造に向けたさまざまな施策を積極的に推進し、市勢の発展と市民福祉の

向上に努めました。◇一般会計の決算額は図1のとおり。平成22年度への繰越事業分を差し引いた実質収支は、46億589万6千2千円の黒字となりました。◇特別会計や企業会計の収支状況は表1・表2のとおりです。

◇健全化判断比率 市の財政の健全度を測る指標の一つ。実質赤字比率など4つの指標のいずれかが「①早期健全化基準」や「②財政再生基準」以上になるときは、それぞれ財政健全化計画、財政再生計画を定めて財政対策に取り組むこととなります。

健全化判断比率

項目	平成21年度決算	①早期健全化基準	②財政再生基準
実質赤字比率	—	11.25%	20.0%
連結実質赤字比率	—	16.25%	40.0%
実質公債費比率	7.2% (△0.8)	25.0%	35.0%
将来負担比率	42.9% (0.3)	350.0%	—

※()内の数字は昨年度比

資金不足比率

特別会計	平成21年度決算	経営健全化基準
病院事業	—	20.0%
交通事業	12.2%(△4.1)	
水道事業	—	
工業用水道事業	—	
公共下水道事業	—	
船舶事業	—	
中央卸売市場	—	—
桜島観光施設	—	—

※()内の数字は昨年度比

財務書類4表(貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書)をはじめ、平成21年度の詳しい決算状況は市ホームページ(トップページ→市政情報→財政状況)をご覧ください。



◇資金不足比率 公営企業の財政の健全度を測る指標で、事業規模に対する資金不足額の割合のこと。この比率が「経営健全化基準」を超えたときは、経営健全化計画を定め、経営改善に取り組むことになります。

健全化判断比率と資金不足比率

本市はいずれも基準以下で健全な運営が行われました